

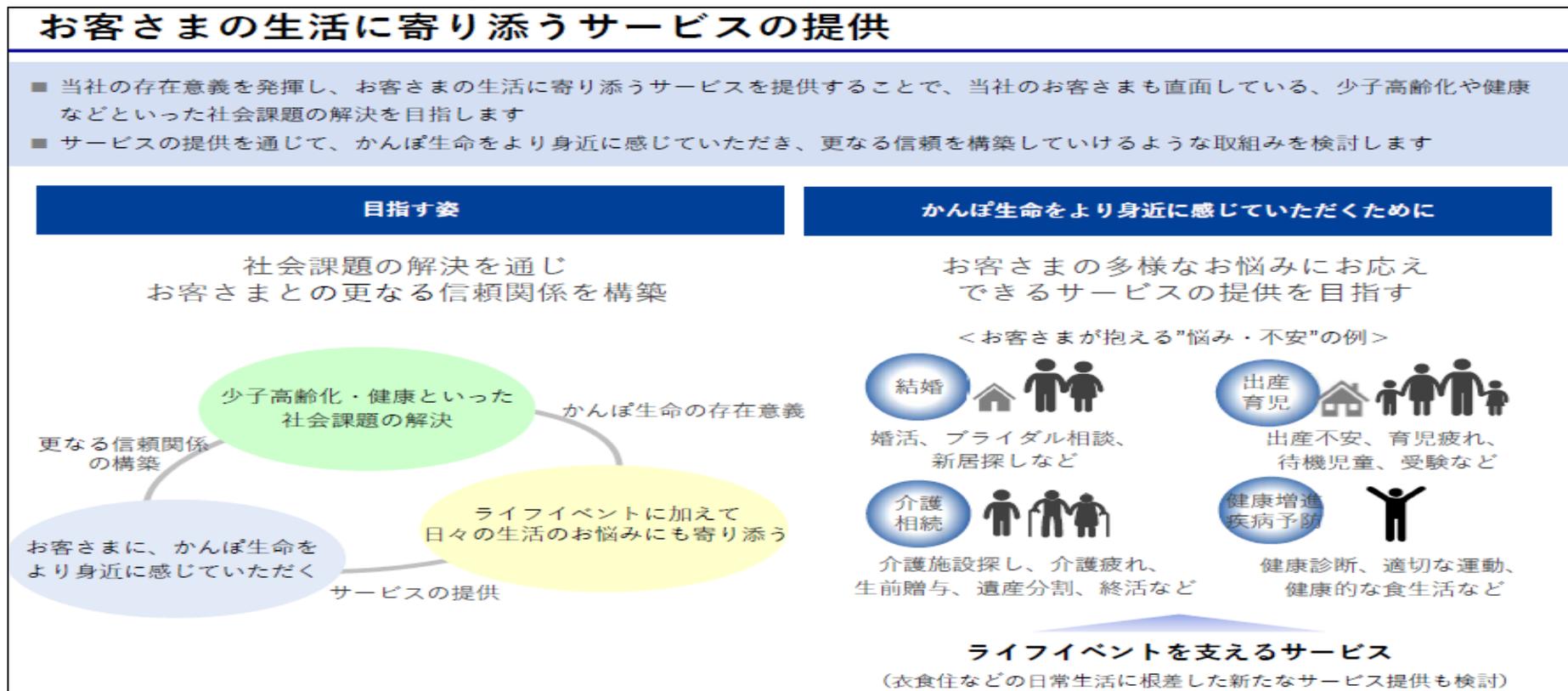
投資子会社保有について

2023年2月27日
株式会社かんぽ生命保険

1 投資会社を子会社とする目的（「お客さまの生活に寄り添うサービス」の提供）

- ▶ 当社は、当社の主要顧客である中高年層のWell-being(*)向上を含め、あらゆるライフステージにおける「お客さまの生活に寄り添うサービス」の提供を通じて、当社をより身近に感じていただくことにより、お客さまとの更なる信頼関係を構築し、本業に好影響を与える好循環の実現を目指している。
(*)Well-being：肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあること。
- ▶ 「お客さまの生活に寄り添うサービス」は、健康増進、介護・相続などの社会課題の解決に関するものを主に対象としており、当社の主要顧客である中高年層のお客さまが抱える悩みである「介護、終活、相続」などの領域から検討を始めている。新たな技術・ビジネスモデル・市場等の創出を目指すベンチャー企業への投資を通じて、当社とベンチャー企業との事業連携を行うことで、更なるベンチャー企業の成長への貢献とお客さまへの提供価値の向上を目指す。
- ▶ ベンチャー企業への投資については、投資専門人材を獲得するための制度設計や、投資・売却の意思決定を含む業務運用の効率化等の観点から、子会社（ファンド）を保有して実施することから、郵政民営化法第139条の規定に基づき、投資会社を子会社とすることについて認可申請するもの。

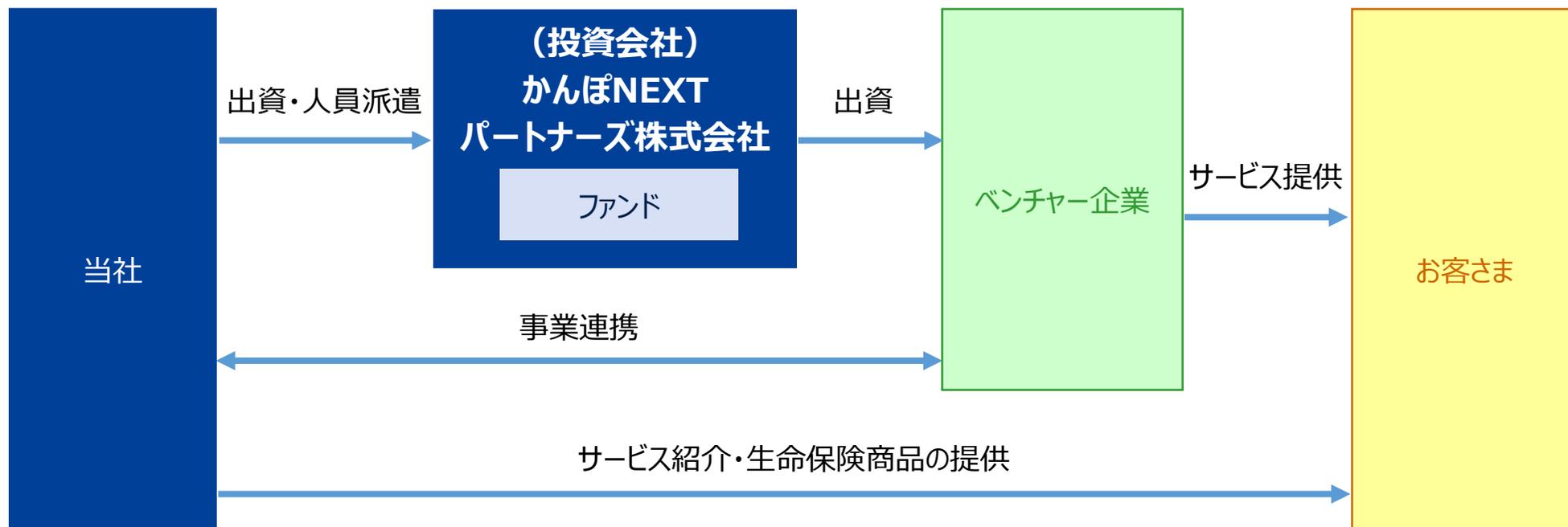
【中期経営計画（2021年度～2025年度）抜粋】



2 投資スキームの概要

- ▶ 「お客さまの生活に寄り添うサービス」を創出することを目的に、有望なベンチャー企業への出資を行い、事業連携につなげる。（出資先は、当社との事業連携の可能性があり、かつ、成長が見込まれるベンチャー企業に限定する。）
- ▶ 当社は多様なサービス創出のために複数の企業と事業連携を行うことを予定していることから、その可能性のある企業の探索は中長期にわたって反復・継続して行う。当社がベンチャー企業への投資を行うことにより、資金ニーズのあるベンチャー企業側から事業連携の提案がされるなど、追加的な効果も期待される。
- ▶ また、本件ベンチャー企業への投資は、当社資産運用のオルタナティブ投資の総枠の中で実施するが、オルタナティブ投資の総枠に占める本件投資総額の割合が僅少であるため、オルタナティブ投資に及ぼす影響は軽微となっている。

本件投資スキーム



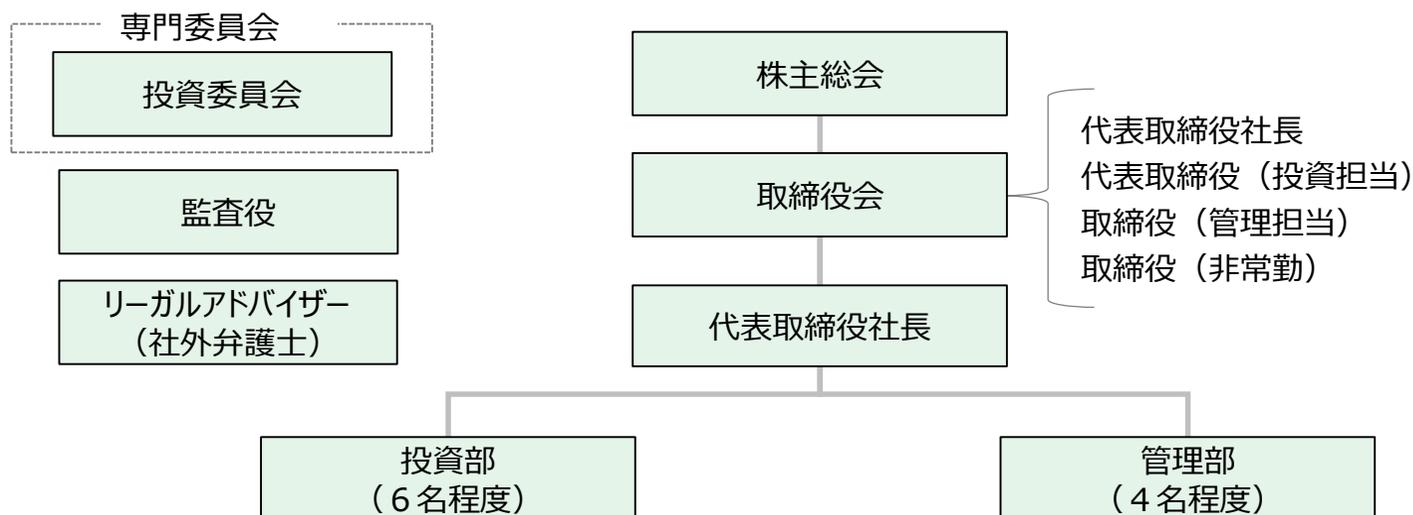
3 投資会社の概要（1）

➤ 投資会社（かんぽNEXTパートナーズ株式会社、以下「かんぽNEXT」）の会社概要及び組織体制は以下のとおり。

かんぽNEXTの会社概要

名 称	かんぽNEXTパートナーズ株式会社（Japan Post Insurance NEXT Partners Co.,Ltd.）
設 立	2022年11月25日（ベンチャー企業やベンチャー投資に関する調査・研究を行う会社として設立。認可取得後に、ベンチャーキャピタル事業を行う会社へ業務内容を変更）
資 本 金 等	8億円（資本金4億円）
資 本 構 成	当社100%
役 員 構 成	取締役 4名、監査役 1名
社 員 数	10名程度

かんぽNEXTの組織（運用開始時）



3 投資会社の概要（2）

- かんぽNEXTの業務運営を確実に行うため、下図の経営管理態勢を構築。かんぽNEXTにおいて問題が生じた場合は、当社が適宜指導・支援する。
- 当社経営企画部みらいデザイン室は、かんぽNEXTの業務に関する統括部署として、日常的な業務指導を行うとともに、専門的な事項については、当社各担当部署との協働により対応する。
- かんぽNEXTの組織を業務執行部門と管理部門に分類し、牽制機能が適切に働く体制を構築する。内部監査は社外専門家への業務委託等を活用する。

